

創業120周年記念

1995 ——— 2005

南海電鉄 最近の10年

〈改革への挑戦〉





## ごあいさつ



当社は、民間資本による鉄道としてわが国で最も長い歴史を刻み、本年創業120周年という記念すべき年を迎えました。

明治、大正、昭和、平成の4代にわたり、数々の困難を乗り越えて今日を迎えることができましたのは、永年にわたり当社を信頼し、ご利用いただいていたお客さまや地域の皆さま、株主の皆さま、そして辛苦を共にし、日夜尽力されてこられた多くの役員・社員諸氏のおかげであります。ここに改めて衷心より敬意と謝意を表したいと存じます。

さて、最近の10年は、バブル経済崩壊に始まる日本経済の低迷に加え、少子・高齢化の進行、地価の下落、会計基準の変更など、当社にとっては厳しい環境が続きました。しかしながら、思い切った経営の改善と企業風土の改革にグループをあげて取り組んできた結果、南海グループ全体としての収益性・健全性は格段に向上し、今後飛躍するための基礎を固めることができました。

南海グループでは、10年後の目指すべき企業像として「高いクオリティを持つ企業集団としての『南海グループ』」と「全国的に信頼される『南海ブランド』」という2点を掲げています。この目標を達成し、輝かしい南海グループの未来を創造するために、今後の課題と真摯に対峙し、将来進むべき道を正しく展望してまいりたいと存じます。

また、本書をご覧いただく社外の皆さまには、当社に対するより一層のご理解をいただきますとともに、今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年11月

取締役社長

山中 淳

## 発刊によせて



当社は本年、お陰をもちまして創業120周年を迎えることができました。

現代は少子高齢化、高度情報化、会計基準のグローバルスタンダード化をはじめとする各システムの近代化などにより、企業経営は激変のさ中にありますが、経営政策の時代適応の誤りや、機会を逸する逡巡は企業の命運を左右することになります。

このような激動と言われる社会・経済の変革は、必ずしも現代のみに集中したのではなく、明治、大正、昭和もそれぞれに大変な時代の連続でありました。

『南海百年史』にありますように、当社の創業時代はまさにベンチャー企業として発足いたしました。その後も数々の熾烈な競争、企業の合併・分離そして最大の試練となった戦争と復興を経て高度成長期の業容拡充へと続いたのでありますが、各時代における経営陣の積極的な事業活動と、全社挙げての従業員の懸命な努力や、多くのステークホルダーに支えられ今日を迎えることができたわけであります。

この10年間は、日本の空の西玄関となった関西国際空港や高野山の世界遺産登録などの大きな企業チャンスに恵まれたほか、当社の展開として「なんばパークス」の第1期開業の成功をはじめ、関連会社を含む全事業の収支構造改善など経営体質の改革により、その総仕上げとなった経営3か年計画「創生120計画」を達成し、21世紀に対応する経営基盤の強化を図ることができました。

幾多の改革に挑戦した10年を振り返り、これを未来への足がかりとするため、本書がその一助となるとともに、ご支援を賜っている関係各位をはじめとする皆さまには、当社事業へのご理解に資することを祈念し、発刊によせる言葉といたします。

平成17年11月

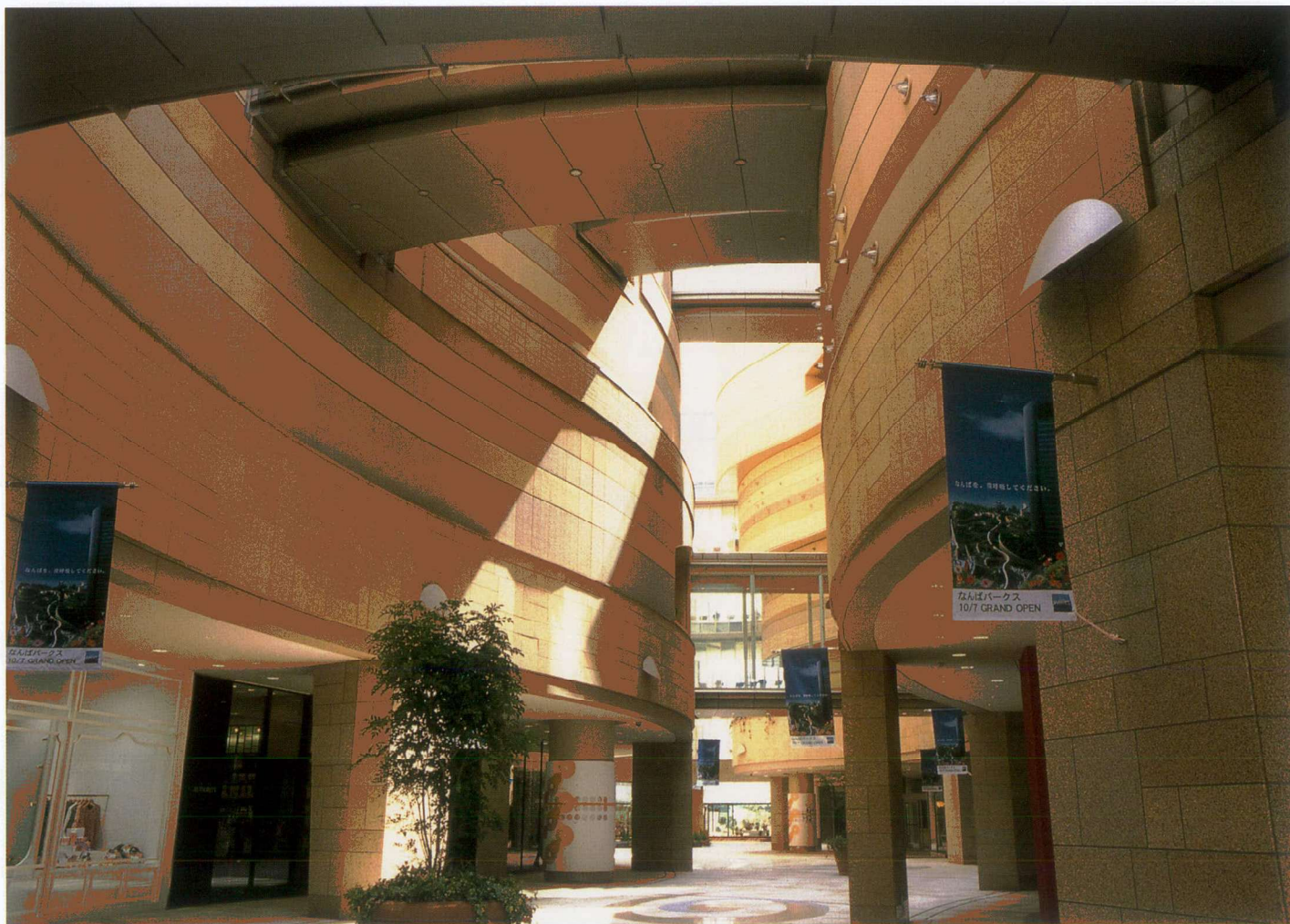
相談役

吉田 二郎

# なんばパークス

なんばの新たなシンボルとして、平成15年10月オープン。魅力的な店舗が集まり、屋上には緑豊かな庭園。その隣には、オフィスビル・パークスタワーがそびえています。

## 建物外観



キャニオンストリート



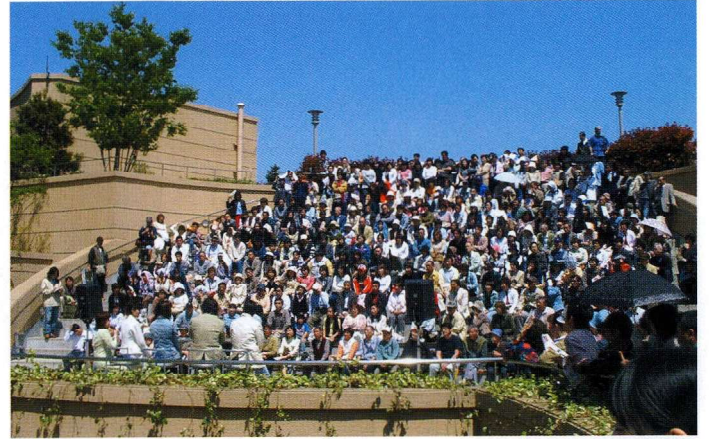
ウインズ難波



空から見たなんばパークス



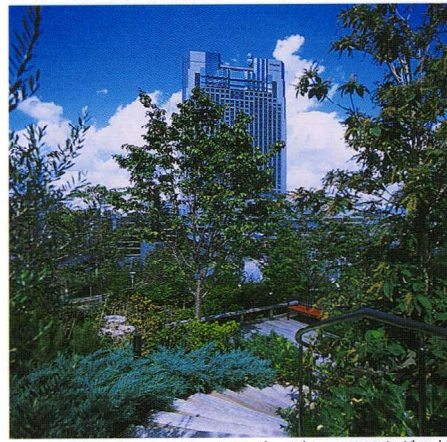
アーバンファーム



円形劇場



パークスガーデン パークスームン前のコスモス



パークスガーデン セセラぎの杜



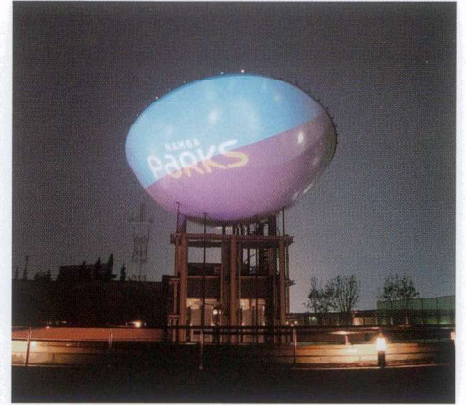
パークスタワーからの眺め



パークスガーデン真上からの眺め



キャニオンコート



パークスマーン



Shops&Diners (5Fモール入口)



Shops&Diners (5Fモール内)



Shops&Diners (6Fテラスレストラン)



カーニバルモール



パークスタワー北西側からの眺め



リフレッシュコーナー



パークスタワー北東側からの眺め



パークスタワー 1Fロビー



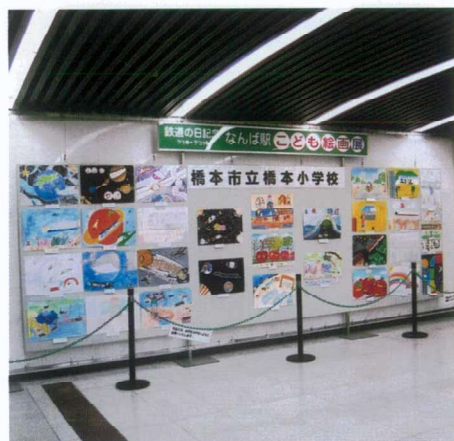
パークスタワー 居室内

# 鉄道事業

120年の歴史を誇る鉄道事業。この10年も、ストアードフェアシステムの導入、駅の利便性アップ、新型車両の投入、設備増強など、サービス向上に取り組んできました。



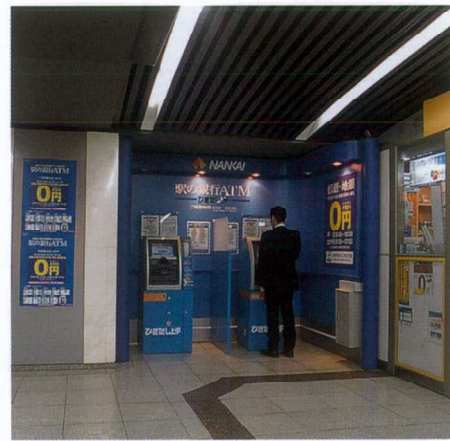
なんば駅正面入口



なんば駅ステーションギャラリー



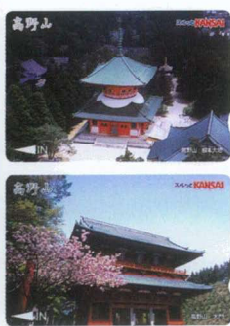
南海電車まつり(平成16年10月・千代田工場)



駅の銀行ATM“ひきだし上手”(平成16年8月営業開始)



コンパスカード(平成11年4月発売開始) 販促風景



コンパスカード



空港特急ラピート(平成7年9月ブルーリボン賞受賞)



浜寺公園駅 (平成10年9月諏訪ノ森駅とともに登録文化財に)



大阪市内連続立体交差 (平成7年11月竣工)



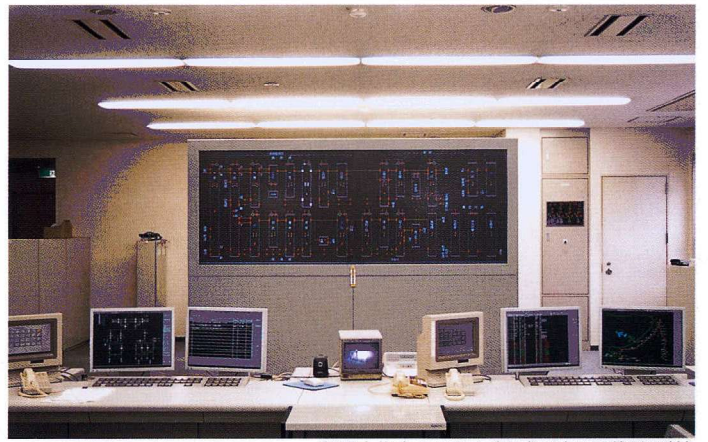
高野山駅 (平成16年7月世界遺産登録された高野山の玄関口)



新型軌道検測車 (平成12年3月導入)



31000系 (高野線に平成11年3月デビュー)



新電力指令システム (平成10年3月稼働開始)



2300系 (高野線に平成17年3月デビュー)



小原田車庫 (平成8年11月竣工)

# 住宅事業

昭和40年代から続く住宅事業では、平成13年5月、南海橋本林間田園都市最後の団地「彩の台」の分譲を開始しました。このほかにも、沿線各地で住宅開発を進めています。



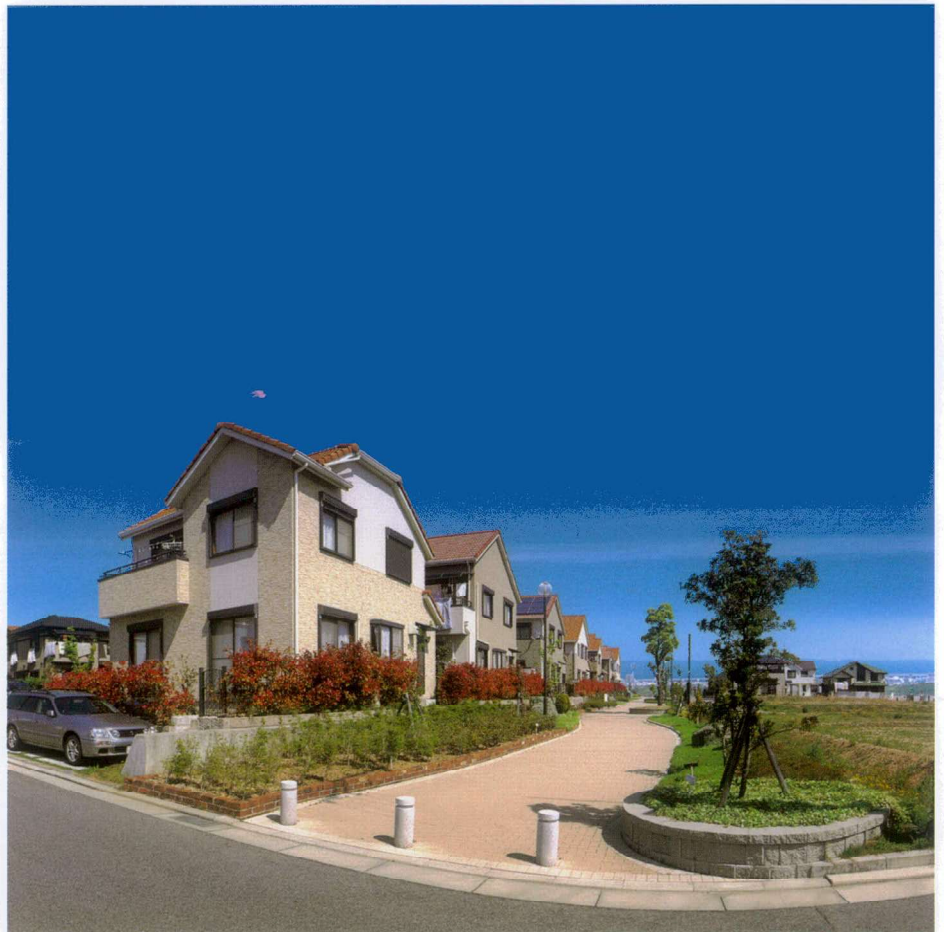
南海・林間田園都市「彩の台」(平成13年5月分譲開始)



南海さやまハーモニータウン(平成11年1月分譲開始)



南海狭山二丁目住宅地(平成15年6月分譲開始)



南海くまどり・つばさが丘(平成12年1月分譲開始)



南海シティコート金剛プラザ (平成15年4月分譲開始)



南海シティハイツ天下茶屋ステーションフロント (平成14年9月分譲開始)



南海シティコート岸和田 (平成14年4月分譲開始)

## 不動産事業

平成10年4月には「南海堺駅ビル」を全館竣工。  
当社としては初めての本格的オフィスビルとなりました。



南海堺駅ビル (平成10年4月竣工)



南海堺東ビル



南海ビル～スイスホテル南海大阪

# 流通事業

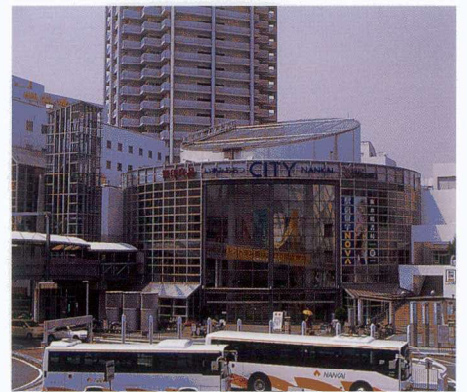
平成15年には、なんばパークスの開業にあわせ「なんばCITY」をリニューアルしました。ほかにも「プラットプラット」や新規の直営店舗をオープンしています。



なんばCITY



しんかなCITY



いずみおつCITY



プラットプラット (平成12年7月オープン)



ノパティながのNANKAI



ショップ南海天下茶屋 (平成10年9月オープン)



アンスリーなんばCITY店 (平成16年4月オープン)

# レジャー事業

沿線遊園地事業の意義が問われたこの10年でしたが、「みさき公園」は健在。  
平成12年6月からは南海アミューズメント株が運営、新たな魅力を追求しています。



みさき公園「ぶ〜るらんどRIO」



みさき公園「イルカショー」



みさき公園の園内風景



みさき公園「動物ふれあい広場」

# 南海グループ

この10年には、バス事業を南海バス㈱に譲渡するなど、大規模なグループ再編が実施されました。多分野にわたる各社はサービスと収益性の向上につとめています。

運輸



南海バス「堺シャトルバス」



和歌山バス



南海りんかんバス



南海バス「コミュニティバス」(金剛～泉ヶ丘)



南海バス「高速バス」(堺・なんば～新宿・東京)



御坊南海バス



関西空港交通



徳島バス



南海車両工業



阪堺電気軌道



サザントransポートサービス



熊野交通「ウォータージェット船」



南海フェリー「フェリーかつらぎ」



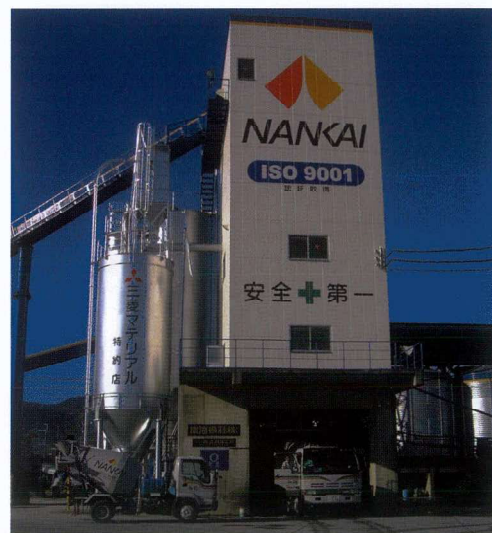
南海辰村建設



南海不動産「ロジマンコート緑地公園」



南海商事「サンマルクカフェ」



南海砂利「第一生コンクリート工場」



南海国際旅行「総合サービスセンター」



ニッポンレンタカー南海「南紀白浜空港営業所」



ホテル南海「ホテル南海なんば」



中の島「ホテル中の島」



南海ビルサービス



住之江興業「住之江競艇場」



南海橋本観光開発「橋本カントリークラブ」



南海マネジメントサービス